

事務連絡

平成29年3月30日

日本学術会議「マスタープラン2017」

計画提案者 殿

学術研究の大型プロジェクトに関する作業部会

主査 小林 良彰

「学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想ロードマップの策定

- ロードマップ2017 -」審査に必要な書類の提出依頼について

文部科学省科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術研究の大型プロジェクトに関する作業部会(以下「作業部会」という。)では、日本学術会議が策定した「マスタープラン2017」を踏まえた、「ロードマップ2017」の策定に向けて、今後推進すべき大型プロジェクトについての基本的考え方等について審議を行っています。

「ロードマップ2017」の策定に当たっては、日本学術会議が策定するマスタープランの重点大型研究計画を基本としつつ、重点大型研究計画のヒアリング対象計画も選定対象に加えることとされており、重点大型研究計画策定に向けたヒアリング対象計画から、書面審査・ヒアリング審査を経て、ロードマップ2017を策定することとしております。

事前にご案内を差し上げておりますが、下記のとおり、ロードマップ2017の審査に必要な書類の提出依頼をいたしますので、提出期限までにご提出下さるようお願いいたします。

記

1. 審査に必要な書類

マスタープラン2017への提案書類(区分 応募フォーム)

マスタープラン2017重点大型研究計画ヒアリングに使用した資料

予算・人員・施設の詳細が分かる資料

年次計画(様式1)、予算計画(様式2)、人員計画(様式3)、施設・設備の明細(様式4)

計画期間終了後の方針など(様式5)

実施機関における意思決定の状況(様式6)

2. 提出期限 : 平成29年4月14日(金)

3. 提出方法 : PDF形式で電子メールにてご提出下さい。

4. 提出先 : 文部科学省研究振興局学術機関課機構調整・共同利用係
gakkikan@mext.go.jp

その他

ロードマップ2017策定方針及び審査予定を参考までに送付いたします。

本件について、ご不明な点などがございましたら、以下連絡先までお問い合わせ下さい。

(連絡先)

文部科学省研究振興局

学術機関課機構調整・共同利用係

電話 : 03-6734-4085(直通)

E-mail : gakkikan@mext.go.jp

分野	計画 番号	大型施設計画/ 大規模研究計画	計画名称

1. 年次計画

項目 (研究テーマ)	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	10年目 以降	備考
1. ○○○○○○												
2. ○○○○○○												
3. ○○○○○○												

必要とする年次までの予定を矢印等で記入して下さい。(※既に年次計画がある場合は、本様式でなくても構いませんが1頁以内として下さい。)

なお大型施設計画の場合は、施設完成後数年以内の初期運用期間を加え必要な年限を設定してください。

項目(研究テーマ)
大規模研究計画であれば主パートの開発設計、建設、調整試験、運用等を記入して下さい。
※相違研究計画であれば 研究組織構築 研究推進の目的的准备 共同利用運用等

※記入スペースが足りない場合は、枠を広げるなど様式を修正して頂いても構いませんが、1頁以内となるように作成して下さい。

分野	計画番号	大型施設計画/ 大規模研究計画	計画名称

2. 予算計画

①所要経費の計画

(百万円)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	10年目以降	合計
施設・設備費												0
人件費												0
運営費												0
その他の経費												0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

項目ごとに計画に必要な年次までの概算を記入して下さい。

②国費・自己資金の計画

(百万円)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	10年目以降	合計
国費												0
自己資金												0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自己資金割合 (%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

国費：当該計画を支援するために特別に措置される経費。

自己資金：当該計画を支援するために特別に措置される経費以外の資金。計画実施組織による独自資金及び国外を含む外部からの資金を指します。

合計は「①所要経費の計画」の合計と一致するよう作成して下さい。

③実施組織内での配分計画

(百万円)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	10年目以降	合計
〇〇大学〇〇研究所												0
□□大学□□研究所												0
△△大学△△研究所												0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

複数の研究機関が主体となる場合の各機関毎の所要経費を記入して下さい。

合計は「①所要経費の計画」の合計と一致するよう作成して下さい。

④国費部分で実施する主な内容及び国費での支援が必要である理由

⑤自己資金部分で実施する主な内容及び自己資金獲得予定・見通し

計画が実施された後、自己資金で費用を負担できる内容や、自己資金の獲得計画について記入して下さい。

※計画していない場合は、その旨、記入して下さい。

⑥国際分担の見通し

計画が実施された後、国際分担で費用を負担できる内容や、国際分担の計画について記入して下さい。

※計画していない場合は、その旨、記入して下さい。

※記入スペースが足りない場合は、枠を広げるなど様式を修正して頂いても構いませんが、2頁以内となるように作成して下さい。

分野	計画番号	大型施設計画/ 大規模研究計画	計画名称

3. 人員計画

(人)

	準備・立上げ期		建設期/組織整備		運用期/研究運用	
	1年目～〇年目		〇年目～〇年目		〇年目以降	
	機関内の 人員	機関外 からの 支援	機関内の 人員	機関外 からの 支援	機関内の 人員	機関外 からの 支援
シニアレベル研究者 (教授、准教授 等)						
ポスドクレベル研究者 (講師、助教、ポスドク 等)						
技術職員 (エンジニア、テクニシャン 等)						
事務員						
その他						
合計						

大型プロジェクトを推進するにあたって、必要な人員計画を記入して下さい。

※大型施設計画の場合は、施設建設時と運用時に分けてください。

※大規模研究計画の場合は、組織整備に係る人員数と研究運用に係る人員数を明示して下さい。

※連携先の機関や、研究コミュニティからの支援を予定する人員数は、機関外からの支援欄に記載して下さい。

機関内人員について役割及び確保方針を記載して下さい。

	役割	確保の方針
シニアレベル研究者 (教授、准教授 等)	プロジェクトリーダー 〇〇〇〇に関する主担当	機関内の人員を充当
ポスドクレベル研究者 (講師、助教、ポスドク 等)	〇〇〇〇の推進 〇〇〇〇担当	国費により雇用
技術職員 (エンジニア、テクニシャン 等)	〇〇〇〇〇の維持管理	自己資金により雇用
事務員	〇〇〇〇に関する事務作業	自己資金により雇用
その他		

※記入スペースが足りない場合は、枠を広げるなど様式を修正頂いても構いませんが、2頁以内となるように作成して下さい。

分野	計画番号	大型施設計画/ 大規模研究計画	計画名称

4. 施設・設備の詳細

①本計画に関連する主な現有設備

この研究計画のために利用可能な主な現有設備について記入して下さい。

研究機関	設備名	仕様(形式・性能)	専用・共同 利用の別	設置 年度	備考
〇〇大学 〇〇研究所	〇〇〇〇	共同利用	平成 〇年度	
□□研究所	□□□□	共同利用	平成 〇年度	

②本計画において新たに整備を行う大型施設の概要(大型施設計画のみ)

建設に 要する期間	件名	建設額 (百万円)	設置機関	建設用地の状況 (該当に〇を記入)	
				建設用地取得済	
〇年	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇百万円	〇〇大学 〇〇研究所	建設用地未取得	
				建設用地未定	
妥当性・必要性					

「年次計画」との対応が分かるように記載して下さい。

③本計画において新たに整備が必要な主な設備備品の明細

購入予定 時期	品名・仕様	数量	単価 (百万円)	金額 (百万円)	設置機関	妥当性・必要性
〇〇年目	〇〇〇〇〇〇〇	〇台	〇〇	〇〇〇	〇〇大学 〇〇研究所	

「年次計画」との対応が分かるように記載して下さい。

※記入スペースが足りない場合は、枠を広げるなど様式を修正して頂いて構いませんが、2頁以内となるように作成して下さい。

計画期間終了後の方針など

分野	計画番号	大型施設計画/ 大規模研究計画	計画名称

○計画期間終了後の方針（国からの支援が終了した後の考え方）について

本欄には、次の点が明確に読み取れるよう留意して記述してください。

- ・国からの支援が終了した後の考え方

○当初の計画とおりに進まない場合の考え方（予算の措置状況等を踏まえ、当初計画の大幅な変更が必要となった場合）について

本欄には、次の点が明確に読み取れるよう留意して記述してください。

- ・計画通りの予算措置とならなかった場合の考え方
- ・国からの支援が計画期間の途中で打ち切られた場合の考え方

実施機関における意思決定の状況

分野	計画 番号	大型施設計画/ 大規模研究計画	計画名称

本計画を推進するにあたって、実施機関における意思決定の状況についてそれぞれ、記入してください。

役員会などで審議を行い、予算措置が見込まれる場合は、実施機関として推進する承認を得ている。	
実施機関の長（学長・機構長など）へ計画について説明し、予算措置が見込まれる場合は、機関として推進する了承を得ている。	
実行組織（部局、研究所など）へ計画について説明し、予算措置が見込まれる場合は、実行組織として推移推進する了承を得ている。	
実施機関、実行組織の長などの了承はまだ得ていない。	
その他（現在の状況を説明下さい。）	

- ・ マスタープラン2017への提案時点における状況を記載すること。
- ・ 実施機関内での会議の議事録など当該状況を説明する資料がある場合は添付すること。